

心理療法を「どのように」「どのくらい」適用するかのアセスメント ～「なぜ私はこのようにする・しないのでしょうか？」

武蔵野大学卒後教育プログラムは、臨床家としての道を歩まれ始めた方を対象に、具体的、実践的な技法を学ぶための入門コースとして、今年度は「アセスメントと心理教育」をテーマにワークショップを開催します。

専門家は、心理療法の技法を比較し選択する際には、まず、「待つ」・「経過観察する」・「何もしない」ことも含めて選択しているだろう。その場合、「一緒にいる」・「寄り添う」・「じっと聞く」ことも、選択のうちに含まれる。アセスメントの対象は、本人以外の家族・同僚・教師といった周囲の人々や、環境・社会といったヒト以外も含まれ、そこでは、いつ・だれに・どのくらい、何を行うか・行わないかを検討しているだろう。ただし、これらの手続きは、日常業務の中で、必ずしも意識して行っているものではなく、説明し討論できるには至っていないこともしばしばである。半ば意識しない行為にも意義はあるが、今日、専門的行為についての説明が重視される社会では、言語化する構えは必須と考える。自分の選択や見立て、疑問を表現できることは、学派を超えて重要であり、自他ともに大過なく臨床業務を行うための知恵とその伝承につながっている。これらを互いに共有するきっかけを示したい。

事例の提供を歓迎します。どのような枠組のものでも差し支えありません。

- ◆日時 : 令和元年 11月9日(土) 13:00~18:00
- ◆講師 : 大山 みち子 (本学教授・広尾心理臨床相談室臨床心理士)
- ◆場所 : 武蔵野大学 有明キャンパス (りんかい線「国際展示場」駅より徒歩7分)
- ◆参加費 : 一般 8,000円 本学卒業生 5,000円
- ◆参加資格 : 臨床心理士、原則として臨床経験を持つ専門家(ソーシャルワーカー、相談員、臨床心理士養成大学院指定校の修了院生など)
- ◆定員 : 30名

講師紹介

1982年横浜国立大学修士課程修了、1985年日本大学博士後期課程満期退学。神奈川県精神衛生センター、柴田クリニック、東京警察病院等の非常勤を大学院時に経験。1985年から法務省で、市原刑務所、東京少年鑑別所、世界青年の船(総務庁併任)等で心理技官、甲府少年鑑別所統括専門官を最後に1996年退職。1996年東京医科歯科大学難治疾患研究所犯罪被害者相談室室長、2000年武蔵野女子(現武蔵野)大学講師。これらの傍ら開業で心理臨床活動。厚生省「ドナー家族の心情把握等作業班」参画者、少年院での指導グループにおけるゲストスピーカー等。日本トラウマティック・ストレス学会および日本ブリーフサイコセラピー学会理事、日本心理学会および日本心理臨床学会代議員、「東洋思想と心理療法」研究会世話人等。

本ワークショップは、「臨床心理士」の教育・研修機会として、(財)日本臨床心理資格認定協会に申請予定です。承認された場合、1日ごとに実績2ポイントが認められます。

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211

開室日: 月～金曜日 9:30～18:00 (祝日を除く)
土曜日 9:30～15:30

武蔵野大学 生涯学習事業課

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

11月9日(土) 心理療法を「どのように」「どのくらい」適用するかのアセスメント

FAX お申込書

送付先 武蔵野大学 生涯学習事業課 FAX: 042-468-3211

申込日 : 令和 年 月 日

1. 氏名 :
2. ふりがな :
3. 所属 :
4. 職種 :
臨床心理士登録番号をお持ちの方は番号をお書きください ()
5. 連絡先 : 勤務先 ・ ご自宅 (どちらのご住所か○を付けてください)
 - ① 〒
 - ② 住所 :
 - ③ 電話番号 :
 - ④ FAX :
 - ⑤ メールアドレス :
6. 心理・精神科医等での臨床経験年数 : 年
7. 本ワークショップを何でお知りになりましたか
8. 本学大学院修了生の方は、指導教員をご記入ください ()
9. 通信欄

※参加お申込から受講案内の流れ

- ①メール または FAX にてお申込ください。
- ②受信確認後、こちらからお申込確認のメール(またはFAX)をお送りいたします。
- ③ご受講いただける方には、別途、「受講のご案内」「郵便振替払込取扱票」をお送りしますので、指定期日までにお払込手続きをお願いします。指定期日までに入金確認ができない場合はキャンセル扱いとなることとなりますのでご注意ください。